



あけぼのつうしん

No.67

2019年10月2日発行

令和第1号！

〔目次〕

■注目！notable case ～道内図書館（室）トピックス～

芦別市立図書館、岩見沢市立図書館	1
栗山町図書館、斜里町立図書館	2
滝川市立図書館、奈井江町図書館	3
中標津町図書館、根室市図書館	4
幕別町図書館	5

■令和元年度研修事業から参加者の声

全道図書館新任職員研修会	6
全道図書館中堅職員研修会	7

■お役立ち情報

①動画で自己研鑽！	8
②“事業貸出し”をご活用ください		
その1 バリアフリー資料見本セット	9
その2 活用事例紹介	10
③令和元年度大会・研修会等情報	11

■道立図書館からのお知らせ

道立図書館の課名等変更について	12
学校図書館協力貸出しのご案内	12

■ 注目! *notable case* ~道内図書館(室)トピックス~

道内市町村の図書館(室)で行われた注目の(notable)話題をお伝えします。

1 芦別市立図書館 「ぬいぐるみの図書館おとまり会」

今年で4回目となる標記事業を5月11日(土)に開催し、大型絵本の読み聞かせやポップアップカードづくりを楽しみました。



図書館の閉館後、子どもたちのぬいぐるみが動き出し、カウンター業務や夜の図書館探検、集団で読書をする様子を高校生ボランティアが撮影し、フォトアルバムを作成します。ぬいぐるみのお迎えの時、子どもに合わせて選書した本を、カウンターに入り貸出体験もします。バーコードをなぞる作業はみんな笑顔になります。



※ 今年度の様子は芦別市立図書館のHP > 図書館のイベント開催報告 で公開されています！

2 岩見沢市立図書館 「ライブラリーカフェ」~まちの魅力を発信する市民を講師に~



岩見沢にまつわる取組や研究に携わり、まちの魅力を発信する方を講師に迎え、談話や本の紹介をしていただく事業です。不定期ですが、図書館の多目的ホールを「カフェのようなくつろぎの場」としてコーヒー等の提供で演出し、開催時間は17:40-19:00の夜間に設定しています。現在までに、森の出版社ミチクルによる「本の編集・出版の話」、市の生涯学習・文化・スポーツ振興課職員の「考古学の話」、家具製作ユニットmilliによる「こだわりの暮らしの話」を開催しています。4回目は10月に地元のお米屋さんによる「おこめのはなし」を予定。30~50代の利用者を中心に、郷土の魅力を再確認し交流できる場としても大好評です。

3 栗山町図書館 「子育て応援コーナー」

乳幼児向けの絵本を並べていた「幼児コーナー」に、子育てに関する図書や雑誌を配架。あわせて、町内関連施設のリーフレットやチラシ等も配置する「子育て応援コーナー」にリニューアルしました。

図書は、「妊娠・出産」「授乳・離乳食」「料理・手作り小物」「子育て・育児・読書」「障がい・病気」「名づけ」にカテゴリーズされ、雑誌は『ひよこクラブ』と『この本読んで!』を並べています。さらに、町の児童センター、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター等のリーフレットやおたよりも配置し情報も発信しています。子育て中のお母さんが子どもと一緒に本を選べ、これから子育てを始める方も有効な情報が得られる評判のコーナーです。



職員がオススメの絵本を 70 冊選び、読み聞かせのコラムなども編集した「はじめましてえほん（幼児向け絵本リスト）」もあります。

4 斜里町立図書館 「子ども司書講座（全9回）」

小学4年～中学3年生を対象とした標記事業を今年も開催中です。

講座は全9回で構成され、NDCやPOPづくり、読み聞かせ、カウンター業務、アニメーション等、司書業務全般にわたり体験します。全9講座のうち6講座を受けると、「斜里町子ども司書」として認定され、認定証と認定バッジがプレゼントされ、子ども司書活動として、図書館まつりや展示の設営などに参加できるようになります。みんなの読書リーダーとして活躍する「子ども司書」の誕生です。



※ 詳しくは、斜里町立図書館 HP > イベントのご案内 をご覧ください。

5 滝川市立図書館 「たきかわ DE 調べる学習体験講座」



子どもたちの夏休みの宿題を解決。市内の施設（滝川市 B & G 海洋センター、滝川地区地域防災施設-川の科学館-、たきかわスカイミュージアム-滝川市航空動態博物館-、滝川市美術自然史館、滝川市こども科学館等）と連携した、「調べる学習体験講座」を開催しています。

郷土についての調べ学習を推奨し、実体験で味わう気づきや子どもが主体的に学ぶ意欲を喚起させ、郷土愛を育むことを目的としています。

今年度は、【川コース】、【空コース】の2つのコースを開講。

【川コース】ではカヌーや水上バイク、釣り等を、【空コース】ではグライダーの見学や飛び工作等を体験しました。もちろん学んだ成果は、図書館の資料を使ってまとめます。

※ 今年度の内容の詳細は滝川市立図書館 HP > 図書館からのお知らせ をご覧ください。

6 奈井江町図書館 子ども向けのイベントで「工作企画」



子どもの読書週間（春）、青空としゃかん（夏）、読書週間（秋）、クリスマスお楽しみ会（冬）等の事業で、司書のアイデアに富んだ「工作」を取り入れています。厚紙やペットボトルやプラ板、牛乳パック等を活用したもので、簡単にできて、完成後に遊んだり、便利に使って楽しめるものを企画しています。

【好評だった「工作企画」あれこれ】

企 画 名	内 容
プラ板マスコット	プラ板に好きな絵を描き、オーブントースターで焼いて縮める。ストラップなどに活用。
ペットボトルでくきぼう	ペットボトルの底を切り落として、ゴム風船をかぶせテープで固定。ゴム風船を引っばって手を離すとペットボトルの口から空気が発射される。持ち手は厚紙を丸めて。
ラミネートしおり	好きな絵を描いたりシールで装飾した台紙をラミネート。
とりヨーヨー、ジャンプへび	ポリ袋に空気を入れ、目、口、羽を貼る。 輪切りにした牛乳パックを輪ゴムでつないで、反動で跳ばす。
とばそう！ストローロケット	輪切りにした牛乳パックに竹串をとおして発射台に。ロケットはストローを小さく切ったものに紙を貼って。
かさぶくろロケット	雨の日にスーパーなどで用意しているビニールの傘袋に油性マジックで絵を描いたりシールを貼って、空気を入れて口を縛ったものを飛ばす。
ぎょうにゅうパックでつくるコマ	牛乳パックの下部を切り開いて、下に割りばしのかげら、上にペットボトルのふたを貼ってコマに。シールやマスキングテープで飾りつけ。
キラキラしゃぼんだま	竹ひごとカルリボンを使って、くるくる回して遊ぶ。
オリジナル缶バッジ	100円ショップのくるみボタン製作キットと安全ピンを用意。自分で描いたイラストなどを使う。
ミニライトセーバー	100円ショップで売っている細いLEDライトの先に、タビオカ用ストローを貼る。
クリスマススノードーム	ガラスびんに液体のりを入れて、ラメやスパンコールを入れる。
かみざらでつくるクリスマスツリー	紙皿の真ん中をくり抜いてリースに。まわりをシールやマスキングテープで装飾
かみざらでつくる かざぐるま	紙皿をカットして、折って羽に。装飾した後、割りばしに可愛いピンで留める。
ペットボトルプレスレット	ペットボトルを輪切りにして切り口にアイロンをあて、プレスレットに。マスキングテープで装飾し、フッカーで安定させる。
おなまえラミネートカード	ラミネート名刺。友だちにあげても、カバンなどにつけてお名前タグとしても使える。



7 中標津町図書館 「中標津町図書館 利用案内」〔学校・幼稚園・保育園向け〕

学校・幼稚園・保育園向けに図書館案内を作成し、図書館の利活用を呼びかけています。学校や幼稚園等が図書館に求める内容を1冊にまとめ、巻末には各種申込書を添付して、事前の打合せ等もスムーズに進められるように工夫されています。

【利用案内の内容】

1 図書館で学習する

- (1) 図書館利用案内、見学
- (2) 調べ学習
- (3) 職業体験

2 貸出支援

- (1) 団体貸出(学校・学級)
- (2) 選書支援
- (3) ブック・フェスティバル
- (4) マルチメディアDAISY
- (5) スクールライブラリーシリーズ
「学校図書館の達人」DVD
- (6) 移動巡回図書

3 読書支援

- (1) 読み聞かせ(出張)
- (2) ブックトーク
- (3) 委員会支援
- (4) 活動支援



※ 詳しくは、中標津町図書館 HP > 学校・幼稚園向け をご覧ください。

8 根室市図書館 「図書館カフェ」

普段は学習室として開放している図書館2階集会室を、年間5回程度シニア世代の憩いの場として、「図書館カフェ」を開催しています。椅子やテーブルの配置を変え、座敷スペースを設置し、BGMを流してお茶・コーヒー・ココアなどを提供します。

また室内には「大人・シニア向けおすすめ図書コーナー」を設置したり、市民のアイデアによるイベントも開催します。運営は図書館ボランティアが行っています。



9 幕別町図書館 「ポップコーン」 3年目を迎えたPOP (本の紹介カード) コンテスト

とっておきのキャッチフレーズとともにオススメの本を紹介するPOPのコンテスト「本のおもしろさはじける! ポップコーン」を開催しています。



対象は十勝管内在住者、募集部門を「幼児」「小学生」「中学生」「一般（高校生以上）」の4部門として、独自のルールを設けて募ります。審査は、図書館の参加者（来館者）が本を借りた冊数分を受け取ることができる「とまるシール」の貼付による投票で行います。入賞・入選作品は、図書館のホームページの「今日の一冊」で、応募作品は「MCLコレクション」で紹介されています。表彰式により賞状と図書チケットも授与されます。



現在は、「文豪部門（キャッチフレーズ、文章のみで本の紹介をする）」と「画伯部門（手書きのイラストとキャッチフレーズ、文章で本を紹介する）」の2部門で開催しています。

※ 詳細は、幕別町図書館 HP > 百架繚乱、
応募作品は、幕別町図書館 HP > MCLコレクション をご覧ください。

この他にも今号では、羽幌町、留寿都村、福島町の事業の様子を紹介しています（p10）。あわせてご覧ください。

写真提供など、ご協力ありがとうございました。

■ 令和元年度（2019年度）研修事業から参加者の声

研修終了後に参加者から提出いただいたアンケートや事後課題から、今回の研修に対しての感想や意見などの、生の声をお届けします。

（1）全道図書館新任職員研修会

令和元年6月13・14日（金）の2日間、道立図書館で、道内公立図書館や公民館図書室に勤務する新任職員を対象に、図書館活動に必要な基礎知識の習得を図るための研修会を実施しました。

講義「公立図書館入門」

「『図書館で働く人は社会教育施設の一員であり、私たちも学習し続ける一員であるべき』との言葉が強く心に残り、私も何かを始めたく思いました。」など

情報交換「お互いの図書館を知ろう！」

「それぞれが抱える悩み等が共有できて良かったです。」「情報交換で出たアイデアを自館の仕事でも少しずつ試してみています。」など

講義「カウンターの仕事」

「図書館ならではの接客等を知れてよかったです。」
「ただの貸出・返却の対応の中に、笑顔であったり、みんなに平等であったり、自分が今までカウンターで行っていたことを反省しようと思いました。」など

講義・演習「児童サービスは図書館の入口」

「今まで苦手意識があり、読み聞かせで避けていた本にも挑戦していこうと思います。」
「学んだことを踏まえて臨んだブックトークでは、終了後に子どもたちから『またやってほしい』『図書館に会いに行くね』と声をかけてもらうことができました。」など

講義「ニーズにあった図書館づくりを目指して」

「私自身選書に携わっているため、偏りがないか、需要のない流行り本を入れていないかなど、改めて自分の選書を見直してみたいと思いました。」
「年々図書購入費が厳しくなっていく現状に対して、どのような方針のもとで選書していくか考えさせられました。」など

講義「著作権法 入門編」

「とてもわかりやすかったです。現場ではケースバイケースのものなど、スタッフ数名で悩む場面も多く、もっと知りたいと感じました。」など

講義・施設見学「道立図書館活用術」

「フル活用できるようになればサービスの範囲が広がるなと思いました。」
「創刊号などの貴重な資料も展示目的で借受できると知り、展示の企画の幅が広がったように思います。」など

(2) 全道図書館中堅職員研修会

令和元年7月11(木)・12日(金)の2日間、道立図書館で、道内各公立図書館、公民館図書室等に勤務する中堅職員に対し、図書館運営・企画能力の向上、変化する利用者ニーズに対応できるスキルの習得のための研修会を実施しました。

講義・演習「協働が創り出す地域の図書館をめざして」

図書館に関する各種宣言など、ふり返ることができて、改めて図書館の存在意義を考えさせられました。グループワークでは、同じくらいの人口ならではの図書館らしい悩みが出たかと思いましたが、どのグループの発表の課題もわかる所があり、同じ問題を持っているため、解決案などの意見が聞けて良かったです。

講義「地域資料の魅力を伝える～企画展示あれこれ～」

地域資料の扱い方や企画展示を実例を交えて教えていただき、勉強になりました。企画展示がレファレンスにつながることも含め、これからの企画につなげたいです。

9月に道の危機管理室の協力で、展示「生きぬくために必要な防災の知識」を開催します。

報告・グループ討議「図書館ができる学校支援」

学校司書がない所が多い中、図書担当の先生と図書館の活動を相談し合い、図書館を使う必要性をもっと高めなければいけないと感じました。授業内容にも気を配り支援を届けたいです。

講義「授業に役立つ！ 児童生徒のための“みちしるべ”」

子どもたちにとって分かりやすいブックリストやパスファインダーがどのようなもので、どう工夫したら良いのかを知ることができました。早速利用してみたいと思います。

ワークショップ「授業に使えるパスファインダーをつくろう」

テーマは福祉で下調べしていたものの、いざ授業で使える！となると何年生がターゲットなのか、どのような授業があるのか、と考える必要がありました。高齢者福祉のみにしぼろう、疑似体験の授業の前に本などで調べてみようという作り方すると、現行の図書館のパスファインダーとはまた違うものができるものだなあ…と感じました。

■ お役立ち情報①

職場研修にも！



で自己研鑽！



- 1 北海道立図書館では、市町村立図書館職員等を対象とした自己研鑽のための研修コンテンツ提供によるスキルアップ支援を行っており、当館ホームページ内で、ウェブ研修（遠隔研修）動画を公開しています。

令和元年8月現在、次の動画をご覧くださいことができます。

- (1) 「おはなし会で使える！手あそびのススメ！ その1～3」

（演者：砂川市図書館 工藤雅子氏／作成者：北海道立図書館）

おはなし会の導入や合間などに有効な手あそびを、道内のベテラン司書が演じた動画です。

新作追加！

- (2) 「初めての図書修理」約47分（作成者：NPO法人修理製本北海道）

平成30年1月18日に開催した「平成29年度全道図書館専門研修（資料保存）」の講師、NPO法人修理製本北海道代表理事 坂上様からご提供いただいた、図書の修理方法を説明した動画です。



- (3) 「やってみよう！紙芝居（最初の一步）」



- (4) 「絵本の読み聞かせをやってみよう！準備編」



※ (2)以外は北海道立図書館作成です。

※ ダウンロードした動画の二次使用については、あらかじめご相談ください。

◆掲載場所◆

道立図書館HP>サービス案内>学校の先生方へ>ウェブ研修のご案内（研修動画）

URL <http://www.library.pref.hokkaido.jp/web/guide/fvrel00000010qr.html#s0>

- 2 学校司書の仕事をわかりやすく解説した動画を、北海道立生涯学習推進センターのホームページ上で見ることができます。「5 読書に興味関心を持たせる活動の工夫」では、環境づくりやイベントなどについて、動画でわかりやすく紹介されています。

- 「学校司書の仕事」（作成者：北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課）

◆掲載場所◆

道立生涯学習推進センターHP>道民カレッジ>学びたい>教材ライブラリー>学校司書

URL <https://manabi.pref.hokkaido.jp/college/learn/shisyo.html>



■ お役立ち情報②

“事業貸出し”をご活用ください

その1 バリアフリー資料見本セット

障がいの有無にかかわらずすべての子どもたちが読書を楽しむことができる、様々な形態の資料と、日本国際児童図書評議会（JBBY）が推薦するユニバーサル児童図書を組み合わせたセットです。選書の参考や、啓発のための展示、公立図書館から学校への情報提供などに、是非ご活用ください。

●セット内容（1セット 15点）

- ・点字絵本 ・LLブック
- ・マルチメディア DAISY
- ・布絵本 ・ユニバーサル児童図書
（一般に出版されている本の中から、年齢・能力に関係なく楽しめる本）



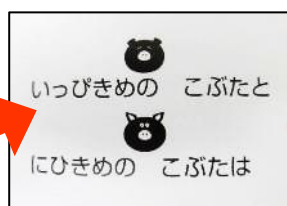
点字絵本

※ A～Cの3種のセットをご用意しています。

『あらしのよるに』（きむらゆういち文 講談社）



LLブック



いっぴきめの こぶたと
にひきめの こぶたは

やさしい表現や
絵文字を使用

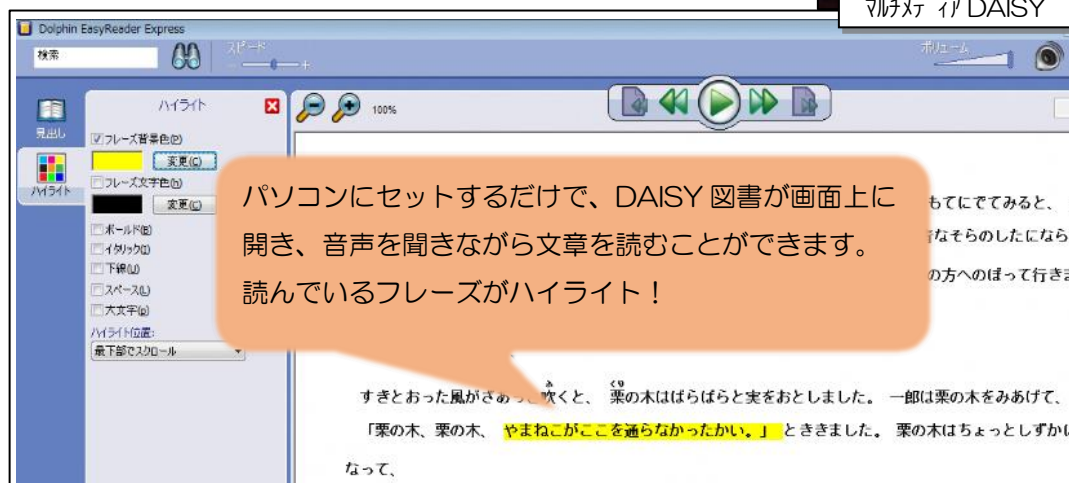


ふきとばされて しまいました。

『さんびきのこぶた』（あかぎかんこぶん 埼玉福祉会）



マルチメディア DAISY



パソコンにセットするだけで、DAISY 図書が画面上に開き、音声を聞きながら文章を読むことができます。読んでいるフレーズがハイライト！

『どんぐりと山猫』（宮澤賢治著 日本障害者リハビリテーション協会製作）

その2 活用事例紹介 ～2019年度市町村活動支援事業の実施状況から～

大型絵本、しかけ絵本、エプロンシアター、外国語絵本などの資料を貸し出します。図書館まつりを始め、学校・保育所・健診会場等で行う事業、ボランティア団体等で主催する事業等で、ご活用いただけます。

★ こどもの読書週間 ★

事業名「開いて広がるしかけ絵本の世界」

- ・利用資料：しかけ絵本セット
- ・対象：幼児・児童～一般
- ・利用報告から

しかけの仕組みを解説するポップアートカードと一緒に置くなどで展示を工夫。破損の恐れがあるため自館では所蔵が難しいしかけ絵本を親子で楽しむ姿も見られた。



しかけ絵本の仕組みを解説する
ポップアップカード
提供：羽幌町教育委員会

事業名「第4回 るすつ子ども読書フェスティバル」

- ・利用資料：エプロンシアター、パネルシアター、大型絵本
- ・対象：就学前児童から小学生とその保護者
- ・利用報告から

留寿都村本の読みきかせボランティアが行ったエプロンシアター、パネルシアター、大型絵本の読みきかせが好評だった。そのほかにも昔かみしばいやピエロによるバルーンアートが披露されるなど、読書フェスティバルを盛り上げた。



提供：留寿都村教育委員会

★ 学校でのイベント ★

事業名「福島小学校ブックフェスティバル」

- ・利用資料：大型絵本
- ・対象：福島小学校 1～3年生、特別支援学級の児童、保護者



- ・利用報告から
25分のおはなし会で2冊の大型絵本の読みきかせをした。ALTによる日本語・英語を交えての英語の大型絵本の読みきかせ、絵さがし絵本を読んで皆で絵さがしをするなど、子供たちから笑い声があがり、盛り上がっていた。

■ お役立ち情報③

令和元年度大会・研修会等情報

令和元年9月以降に実施される予定の図書館に関する大会や研修事業等を一覧にしました。研修等参加の参考情報としてご活用ください。

済

実施日	機関・団体	事業名	開催地（会場）
9月 4日～5日	北海道図書館振興 協議会ほか	第60回北海道図書館大会	札幌市 (札幌市教育文化会館)
10月 4日～5日	北海道学校図書館 協会ほか	第43回 北海道学校図書館研究大会旭川大会	旭川市 (上川教育研修センターほか)
10月 9日～10日	北日本図書館連盟 ほか	全道図書館専門研修(経営/企画・ 広報)(兼 令和元年度北日本図書 館連盟研究協議会)	札幌市 (札幌市中央図書館)
11月8日	北海道図書館振興 協議会	館長会議(講話)	札幌市 (札幌市中央図書館)
11月 12日～14日	図書館総合展運営 委員会	第21回図書館総合展	神奈川県横浜市 (パシフィコ横浜)
11月20日	北海道図書館振興 協議会	全道図書館専門研修 (経営/関係法規)	帯広市 (帯広市図書館)
11月 21日～22日	日本図書館協会	第105回全国図書館大会	三重県津市 (三重県文化総合センター)
11月 13日～15日	文部科学省 福島県立図書館	図書館地区別(北日本)研修会	福島県福島市(福島県立図書館) 福島県白河市(白河市立図書館)
11月 28日～29日	日本図書館協会	全国公共図書館研究集会 (児童・青少年部門)	島根県松江市 (島根県民会館)
12月13日	北海道図書館振興 協議会	全道図書館専門研修 (サービス/地域資料)	新ひだか町 (新ひだか町図書館)
12月 12日～13日	日本図書館協会	全国公共図書館研究集会 (総合・経営、サービス部門)	千葉県千葉市 (千葉市生涯学習センター)
1月 7日～8日	北海道学校図書館 協会	北海道学校図書館研修講座	札幌市
1月17日	北海道図書館振興 協議会	全道図書館専門研修 (子ども読書/地域支援)	江別市 (道立図書館)
2月 13日～14日	北海道立生涯学習 推進センター	地域生涯学習活動実践交流セミナー	札幌市 (かでる2・7)
10月～	北海道教育庁生涯 学習課	読書活動活性化フォーラム ※ R1年度は5会場(管内ご と)で実施し、R2までに全管 内で実施	後志(10/23 倶知安町) 檜山(10/25 上ノ国町) 上川(11/15 剣淵町) 胆振(12/4 登別市) 根室(12/12 根室市)

研修についての情報は、以下のサイトもご参照ください。

■日本図書館協会 > JLA主催行事 <http://www.jla.or.jp/jlaevent/tabid/93/Default.aspx>

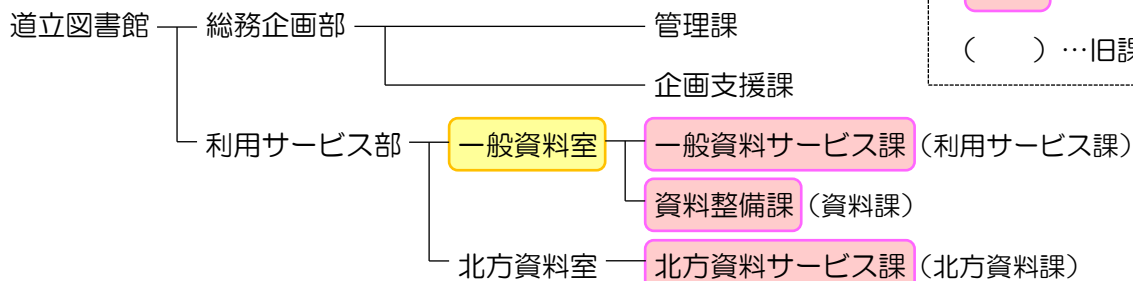
■北海道立図書館 > 道内の図書館・お知らせ・イベント

<http://www.library.pref.hokkaido.jp/web/event/index.html>

■ 道立図書館からのお知らせ

◎ 道立図書館の課名等変更について

令和元年（2019年）6月1日から、一般資料室を新設し、利用サービス部の課名を変更しました。

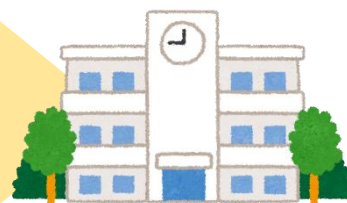


◎ 学校図書館協力貸出のご案内

小・中・高等学校及び特別支援学校の学校図書館に、



道立図書館の蔵書を直接貸し出します。



★ 冊数制限なし。

★ 道立学校は送料無料。

※道立学校は返却時の送料も当館負担。市町村立・私立学校は返却時のみ負担。

★ 貸出期間は30日間。※一部資料を除く。

《こんなお問合せに対応して貸し出しました（一部）》

市立小学校から

「1日防災学校に使える本は？」

道立高等学校から

「文化祭で行灯を作ります。」

私立高等学校から

「日本史の授業で源頼朝
について調べます。」

道立高等学校から

「ふるさと動画DVDを活用して、道みんの日の関連学習をします。」

道立高等学校から

「先生方の研修にKJ法
の入門書を使います。」

具体的なタイトルでのお申込みはもちろん、各種テーマに応じたご相談も受け付けています。

令和元年8月末現在で95校が登録しています。

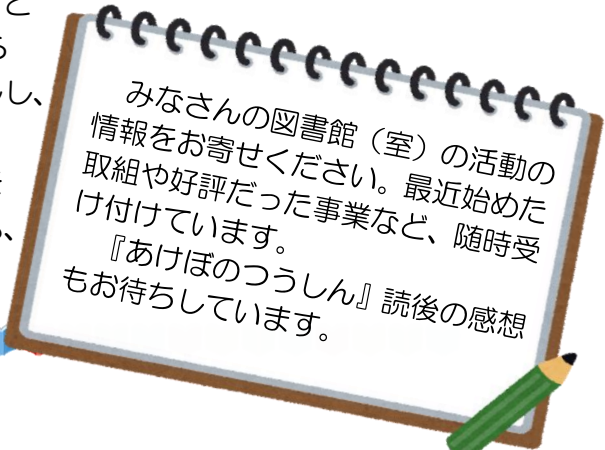
～利用登録の方法などの詳しい情報は、当館ホームページ「学校の先生方へ」をご覧ください。～



令和第 1 号となる『あけぼのつうしん No.67』をお届けするにあたり、「さて、あけぼのつうしん第 1 号はどんな内容だったのだろうか？」と企画支援課のキャビネットを探してみました。

第 1 号は平成 12 年（2000 年）8 月の発行で、当時のタイトルは『あけぼの号つうしん』。特集記事は「有珠山噴火に係る支援について あけぼの号、避難所を巡回」でした。移動図書館あけぼの号の終了とともに、平成 18 年（2006 年）の第 23 号から『あけぼのつうしん』にタイトルをリニューアルし、今に至っています。

改元に合わせ、今号から表紙のタイトルロゴを一新しました。新元号の『あけぼのつうしん』も、どうぞよろしくお願いします。



みなさんの図書館（室）の活動の
情報をお寄せください。最近始めた
取組や好評だった事業など、随時受
け付けています。
『あけぼのつうしん』読後の感想
もお待ちしています。



あけぼのつうしん No. 67

発行日 令和元年(2019年)10月2日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

ホームページアドレス <http://www.library.pref.hokkaido.jp/>